

所管事務調査

社会文教常任委員会

- ① 調査日…平成29年10月31日～11月1日
- ② 訪問地…埼玉県皆野町・川島町



「花の森こども園」の運営方針などを語る代表理事の葭田あきこさん(左)

「花の森こども園」は自然の中で子どもたちを育てる「自然体験の教育」を教育理念に掲げています。ヤギやウサギと触れ合い、木登り、山登りを楽しんでいます。代表理事の葭田(よしだ)あきこさんによると、秩父市内の幼稚園が経営者の交代により、教育方針が大きく変わったことをきっかけに、一部の保護者と一緒にこども園を創設しました。無認可で、公的支援はなく、資金源は保育料やNPOの賛助会費などです。2歳から就学前までの22人が通園しています。葭田さんは「自然の中で育つ子ども

自然体験の教育 花の森こども園

「自然の中で育つ子どもたちは、自然の大切さを大人になっても感じていくでしょう。富士見町も自然豊かな町。自然の中で子どもを育てる意識を持ち続けてほしいと思います。」

地域包括ケアの川島町

二日目に訪れた川島町は、住み慣れた地域でいつまでも暮らせる仕組みづくり「地域包括ケアシステムモデル事業」を取り入れ、実践しています。超高齢化時代を迎える中で、先進地として参考にしたいと思います。

もは自己肯定感が高まる。子どもたちが自立するためには、自分で選ぶ体験が大事で、幼児期に自分で選択し責任を負うことが自信になり、それが社会につながる」と語りました。

ふるさと納税、動画配信を学ぶ

姉妹町の西伊豆町を訪問、議員交流

富士見町議会は12月14日、15日の両日、姉妹町の静岡県西伊豆町を訪問し、議員交流を行いました。両町議会は毎年1回、交互に訪問し合っています。今年度は富士見町側が訪問する年で、議員9人と議会事務局職員2人が参加し、熱い歓迎を受けました。町役場での研修会では、ふるさと納税、議会本会議の動画配信の2点について説明を受け、理解を深めました。

【ふるさと納税】平成28年度は約1億2500万円の寄付金が集まりました。富士見町の1億円弱に対して、金額の大きさが際立っています。西伊豆町は、ふるさと納税を「町の産業振興を図る上で、ベースとなる施策。町や特産品を効果的にPRできるすぐれたツール」と位置付け、事業に力を入れていきます。平成29年度は総務省から、高額寄付に対する返礼品の廃止、感謝券の廃止、返礼割合を3割以下にするなどの直接指導があり、3月末までに見直

【議会の動画配信】平成26年度12月定例会から一般質問の動画配信を始めています。2台のビデオカメラで町側と議員側を撮影。議会事務局が動画編集

ソフトで編集後、YouTubeにアップロード。町のホームページ上で公開しています。導入費用は、ホームペー



西伊豆町議会との研修会であいさつする五味平一議長(中央)

全員協議会での町関係協議・報告事項【10月～12月】

◆10月24日(一部秘密会)

- ①地域未来投資促進法の概要(和田産業課長)
- ②静香苑の使用料改定(小池建設課長)
- ③平成30年度予算編成に向けての町長方針(名取町長)
- ④衆院選関係の専決処分(伊藤総務課長)
- ⑤台風21号による被害状況(伊藤総務課長)
- ⑥茅野市内事業者への行政処分(伊藤総務課長)
- ⑦トヨタ財団への助成申請(植松副町長)
- ⑧落合保育園の改築計画(脇坂教育長、平出子ども課長)
- ⑨「ゆめの森公園」
(脇坂教育長、平出子ども課長、名取生涯学習課長)
- ⑩アプリ関係(伊藤総務課長)

◆10月30日(臨時全協)

- ①24日の全協で説明のあった事案への対応を協議

◆11月14日(臨時全協)

- ①「ゆめの森公園」の予算不足問題
(植松副町長、脇坂教育長、平出子ども課長、
名取生涯学習課長)

◆11月20日

- ①町議会12月定例会に提出予定の議案(植松副町長)
- ②「ゆめの森公園」建設に伴う予算不足4000万円の補正予算案
(名取町長)
- ③ニホンジカの放射性セシウム検出に関する概要(伊藤総務課長)

◆12月12日

- ①平成29年度「富士見町重大(10大)ニュース」(伊藤総務課長)
- ②12月定例会の追加提出議案(植松副町長)
- ③放射性セシウム検出に伴う全頭検査(和田産業課長)

※()内は説明者